

大阪大学図書館報

Vol. 7, No. 6, February, 1974

新聞小説「五彩の図絵」から

矢 守 一 彦

村上元三「五彩の図絵」というのが、目下、「朝日」の夕刊に載せられている。私には新聞の連載小説を読みつづける趣味はないが、ある日、ふと目にとまった文章が、はげしく私の心をひきつけた。

(板の間の)中には、これまで今之助が役目の上で測量をし、作図をした米沢城下、城内の縄張、領内の絵図、それに他家から借りて写した図など、ことごとくが納めてある。正式に家老へ届け、上杉家の判を押したものは、上屋敷の納戸蔵へ入っているが、それを一枚ずつ、今之助は独断で写しとり、自分で所蔵していた。

主人公の「春日今之助」は米沢藩の絵図方らしい。去年の10月、私は東北大学文学部へ出講の折を利用して、狩野文庫の絵図類をみせてもらい、帰途には米沢へまわって、市立図書館に所蔵されている上杉家の城下絵図を調査させていただいた。これまで城下絵図は城郭史的ないし歴史地理的な立場から研究されるのが一般で、地図の発達という視角からの分析は未開拓に近い状態で残されていた。この二度目の米沢行をおえたあと、「米沢城下絵図について——地図史的考察の試み」(史林 56-2)という小文を報告したが、そのなかでもふれたように、米沢藩では「岩瀬小右衛門」家が代々、測量・絵図の任にあたっていたらしい。「細面で、切れの長い眼、やや高すぎる鼻、うすい唇に、妙な色気がある。ことし23才、まだひとり身」の春日今之助は実は何代目かの岩瀬小右衛門ということになる筈である。

こういうわけで私には、にわかに主人公が身近かなものを感じられはじめたのである。

今之助は、新しい紙と硯箱、絵具などを取り出し、元禄版の駿府城絵図を写しはじめた。手あぶりもない、寒い部屋だが、こういう仕事になると、今之助は自分を忘れる。

私には、元禄の昔に自分と同じような作業をしている今之助が、いま経験しているであろう板の間のつめたさや、硯の墨の香りまでが伝わってくるような気がした。

小説はすでに連載第52回目になっていたのに、図書館の掛の方を煩わせ、朝日新聞の古いところを出してもらい、初回から通読することにした。

それは赤穂浪士の吉良邸討入りが行なわれた雪の朝から始められていたがこの小説では絵図や絵図師が、かなり重要な役まわりを演ずるようである。赤穂浪士が事前に手に入っていた吉良邸の絵図の写しも、もとは今之助が図面を引いたものであったし、彼がオランダ流の測量術や、地図作製の方法を学んだ「玄武道印」こと北条次郎三郎も、どうやらこの小説ではウサン臭い人物として描かれてゆくらしいのである。

村上元三氏はこの「次郎三郎は、日本測量術の開祖ともいべき北条安房守正房の孫に当る。(略)安房守正房は遠近道印の仮名を用い、大和絵師菱川師宣に描かせ、東海道分間絵図、江戸分間絵図などを作り、幕府の許可を得て、書店から出版した」としておられるが、「遠近道印」とは何人であるかについては、富山藩士藤井半知に擬する説など幾通りかの推理がなされていて、まだ定説はない。

さて玄武道印は3500石の旗本の隠居の身ながら、いまだ幕閣の中枢部にニュース・ソースをもち、「大公儀」の吉良家や上杉藩に対する処分についての情報を今之助に流す。そしてその見返りに吉良家に所蔵されている「駿府城絵図」を手に入れようとする。

わしの仮の名、玄武は北を指し、青龍、白虎、朱雀と共に四神の一つ、道印とは道案内のことを言う。(略)祖父伝来の測量、写図の術を学んでいるうち、わしに玄武神が乗り移ってな。諸国の城の絵図、残らず手元に集めなくなった」

これは口実であって、玄武道印は「駿府城絵図」を入手して何事かを企んでいるかのごとくである。しかし城絵図を1枚でも多く手元に集めたいという気持も万更ウソではないように思われる。事実、諸国の城絵図の蒐集にとりつかれた兵学者は他にも何人かいたのである。たとえば金沢藩の有沢永貞もその一人で、この兵学者は前記の藤井半知に測量術の伝授を受け、「主図合結記」の増補改訂版ともいべき「諸国城之図」を編んでいる。私は先頃、尊経閣文庫でその美しい図叢について調査させてもらった。

ところで編集子からは「別に図書館に関係したことでなくても結構だから、何か面白いものを」書くよう頼まれたのであるが、しかし、そういうわけにもゆかぬであろうと思う。

そこで——上記のうちにも、絵図類に関しても貴重なコレクションを蔵する図書館の名を二つ三つあげたが、先年、ヨーロッパ出張の際、各地の文書館・図書館・博物館で、当該の都市の絵図をはじめとする古地図が、夥しく蒐集され、それがみごとに整理されているのを見て、羨望の念を抱いたのを思い出す。私は比較都市史を志し、さしあたっては東西の町絵図の勉強を試みようとしているのだが、それにつけても、本学図書館にも、せめて大阪図ないしこの一円の地域に関連の古地図類を蒐集しておいてほしいというのが、実はこの小文のオチなのである。

大阪や堺の板行図などは、すでに文学部図史研究室にも若干は所蔵されており、数年前には宮本又次先生を代表者とする機関研究「近代大阪の歴史的研究」の科研費でもいくらか購入していただいた。しかしそれは質量ともに、とても外に対して語り得るような底のものではないように思う。梅溪昇先生が「館報」前々号で紹介しておられるように、本学にも懐徳堂・適塾・含翠堂関係の文献・史料などのすぐれた〈文化財〉が所蔵されているが、願くばそれに郷土の古地図類をも加えられる日の近からむことを。

蒐集には予算措置の必要なことはもちろんながら、それとともに蒐集・整理に専心できるスタッフが常任されていなければ、この種の仕事は成り難い。梅溪先生も図書館に資料展示館、専門学部資料研究施設の付設の必要性を説かれている。この小文の載るのは「図書館報」なので、この際は「図書館付設」としておいてもよいが、いまの場合、「図書館」というのは〈インター・ファカルティ機関〉の象徴のつもりである。学内の研究者や学生諸君の活用に使われるのはもちろんのこと、たとえば遠来の客をも誇らしげに案内できるような、全学的な資料館・博物館が設立されるとよいのだが……。これが私の五彩の夢である。しかし何ごとによらず私の夢は実現されそうになってはすぐまた消えてゆく。

(文学部 助教授)

学生希望図書 (受入済)

- The great explosion.
Eric Frank Russell.
(Dennis Dobson)
- Rogue ship.
A. E. Van Vogt. (Dennis Dobson)
政治と社会構造 (上)
T. パーソンズ, 新明正道 監訳
(誠信書房)
- 国家の暴力と人民の権利
上田誠吉 著 (新日本出版社)
- The best of life. (日本語版)
(タイム・ライフブックス)
- 石に書く—ライシャワー事件の真相—
大森 実 著 (潮 出版社)
- 理工系学生のための新しい基礎化学
東 健一 他 (東京化学同人)
- 一般システム理論
—その基礎・発展・応用—
フォン・ベルタランフィ,
長野 敬 他訳 (みすず書房)
- 生物から見た世界
ヤコブ・フォン・エクスキュル,
ゲオルク・クリサート,
日高敏隆 他訳 (思索社)
- 遺伝子の夢・現実
マクファーレン・バーネット,
野島徳吉 他訳 (蒼樹書房)
- 巻上機及び起重機 (上巻)
ヘンケン, 中村俊夫 他訳
(コロナ社)
- 日本列島地質構造発達史
市川浩一郎 他編 (築地書館)
- Atoms in the family:
My life with Enrico Fermi.
Lauva Fermi.
(Univ of Chicago press)
- The poems of Emily Dickinson.
Thomas H. Johnson.
(Harvard U. P.)
- ツヴァイク全集
第2巻: 女の二十四時間
ツヴァイク, 関 楠生 他訳
(みすず書房)
- Physical Chemistry. 3rd. ed.
Barrow, G. M. (International
student edition. Tokyo.)
マルタン仏和大辞典
J. M. マルタン (白水社)
- 北上山地に生きる
—日本の底辺からの報告—
河北新報社編集部 編 (勁草書房)
- オカルト (上), (下)
コリン・ウィルソン 中村保男 訳
(新潮社)
- 幻想芸術
マルセル・ブリヨン 坂崎乙郎 訳
(紀伊国屋書店)
- 憲法原論 (新版)
橋本公巨 著 (有斐閣)
- われら戦友たち
柴田 翔 (文芸春秋社)

教官著作寄贈図書

一本館

佐藤一郎 (教・教授)

ゴーリキーの生涯 佐藤清郎 著
(筑摩書房 昭48)

村上至孝 (文・教授)

イギリス新古典主義の詩
—ドライデンからターパーへ—
村上至孝 著 (研究社 昭48)

大高順雄 (教・教授)

Dictionar Român-Japonez (ルーマニア語字典)
(ルーマニア言語・文化研究会 昭48)

吹田分館

水谷幸夫 (工・助教授)

基礎燃焼学 R. A. ストリーロ著
水谷幸夫訳 (森北出版 昭48)

西田俊夫 (工・教授)

応用確率論 (新統計学シリーズ7)
(培風館 昭48)

尾崎 弘 (工・教授)

白川 攻 (工・助教授)
グラフとネットワークの理論
(コロナ社 昭48)

基礎工学部図書室

白江公輔 (基工・助教授)

変換検出器 (現代自動制御双書8)
桜井良文, 白江公輔 共著
(コロナ社 昭48)

本館受入参考図書

昭和48年10月から49年1月までに受入
済みのもの

内閣文庫洋書分類目録 (英書篇下)
(国立公文書館 内閣文庫)

Библиография Изданий Академии Наук
СССР Том14

Библиография Советской Библиографии
1965

Библиография Пакистана 1947-1967

Библиография Японии

東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録
(東京大学東洋文化研究所)

岡山大学所蔵近世庶民史料目録
(岡山大学附属図書館)

労働省図書館蔵書目録 (和書の部1)
(労働省図書館)

掌中暦 (古辞書叢刊行会)

東洋学文献類目 1971
(京都大学人文科学研究所)

International Bibliography of Historical
Sciences 1964 Vol. 33.

Dictionary of Russian Personal Names.

实用難読寄姓辞典 (日本加除出版)

戦国人名辞典 (吉川弘文館)

中国人脈要覧
(ADIアジア総合開発研究所)

婦人労働の実情 1973
(労働省婦人少年局)

外国為替市場辞典 (外国為替情報社)

府県別近畿圏基本計画地図集
(大阪人文社)

資料労働運動史 S 43-44 (労働省)

ARCレポート総集

(ソ連, インドネシア, オーストラリア,
イタリア, ブラジル, カナダ,
タイ, フランス, 香港, イラン, メ
キシコ)

(世界経済情報サービス)

Social Science Citation Index, 1973
Tri-annual. Vol. 1-2.
資料消費者行政 (第1, 3巻)
(大蔵省印刷局)
朝鮮統一問題資料集 (民族統一新聞社)
フランスことわざ小辞典
ソ連東欧総覧 (読売新聞社)
大阪経済史料集成 (第4巻)
(大阪経済史料集成刊行委員会)
総理府統計局百年史資料集成 (第1巻)
(総理府統計局)
(ISPS) Who is publishing in Science
1973 Annual.
大阪大学第7次アジア医学踏査隊報告書
(大阪大学東南アジア医学踏査隊)
世界IC規格・回路ハンドブック
(誠文堂新光社)
特許・実用新案分類表 (特許庁)
観光地ゴミ公害レポート(日本観光協会)
コンピュータ安全管理マニュアル
(海外技術資料研究所)

戦前昭和期大阪の公害問題資料
(ミネルヴァ書房)
鋳物便覧 (丸善)
港湾計画資料集, 上・下巻
(運輸省第1港湾建設局)
電算機ドキュメンテーション標準化マニ
ュアル (日本ビジネスレポート)
Soviet Trade Directory
海洋博ハンドブック (日本工業新聞社)
輸出統計品目表解説 (日本関税協会)
サイクリング事典 (ペリカン社)
Киргизско-Русский Словарь
Русско-Испанский Словарь
日本語発想辞典 (東京堂出版)
名数語彙 (古辞書叢刊刊行会)
世俗字類抄 ()
消息詞書状文字抄 ()
Vietnamesisch-Deutsches Wörterbuch.
連歌俳諧書目録 (東京大学附属図書館)

《パナコピー (電子スライド作成機) の設置》

従来、本館でのスライド作成は、銀塩写真法 (ネガ, ポジ式) で多くの工程を要したが、今回設置したパナコピーは、原稿一陽画と工程が省略され、約40秒でマウント付きスライドが完成する電子写真方式をとり、有機光半導体フィルムを用いている。操作は至って簡単で、利用者のセルフサービス方式をとることも可能ですが、当面、二階参考掛事務室に設置し、掛員が操作を行いますので、二階カウンターにて申し込み下さい。料金は一枚 100円で、昭和49年1月より学内校費振替のみとり扱っております。

《旧館改修工事に着手》

すでに掲示等で案内しておりますとおり、昭和49年1月18日より旧館改修の第一次工事に着手しました。本年度は1階部分のみで、2階、3階については次年度に実施予定です。今回の改修は殆んど内装関係で、部屋割等については以前と変わりませんが、指定図書室が拡くなり、また、間仕切りを設けます。部屋も明るくなり、快適に利用していただけます。竣工は3月30日です。その間、利用者のみなさんには何かとご不便をおかけしますが、今しばらくご辛棒下さい。工事期間中の利用については、今までありました指定図書は開架室に、雑誌架、新聞閲覧台は開架室入口、ブラウジングコーナーに移しました。ご利用下さい。

■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

——図書館委員会——

48. 10. 12(金) 16:00~17:30 本館会議室

48. 11. 16(金) 16:00~17:00 〃

1. 館長候補者の選定について 守谷館長が健康上の理由により、辞意を表明され、昭和48年10月1日に総長から、次期館長候補者の選考について本委員会に諮問があった。10月12日に開催された委員会で、次期館長候補者となるべき者1名の推せんを各部局に依頼し、11月16日の委員会で、館長候補者の選定を行なった結果、経済学部高田教授が、次期館長に選定された。

2. 旧館改修について 昭和46年度に新館が増築され、その際旧館の模様換等引き続いて実施する予定のところ、諸般の事情により、現在まで着手されなかったが、本年度、旧館改修経費が計上され、旧館3階のうち、1階を本年度経費で、2、3階を次年度経費で改修することになった、改修工事の概要について各階の設計図にもとづき事務部長の説明があり、委員会の了承をえた。

——中之島分館運営委員会——第46, 47回——

第46回 48. 12. 13(木) 14:00~15:00 於 分館会議室

第47回 49. 1. 9(水) 16:30~17:00 於 〃

(第46回) ①48年度運営費等中間報告が行なわれた。②分館長選挙の日程について。分館長任期満了にともなう改選のため、次回運営委員会を、昭和49年1月9日(水)午後4時30分より開催する。(現、坂本分館長の任期は、昭和49年2月16日まで) ③夜間開館時間の短縮について。電力節約のため、現在7時まで夜間開館しているが、閲覧者が減る6時以後の1時間をカットしたい。とりあえず、期間は1月~3月末日とする。このことについては分館長名で関係各部局長の意見を照会することを決定した。

(第47回) ①分館長の改選について。大阪大学附属図書館中之島分館長選考規程により投票の結果、山野俊雄教授が選出された。②夜間開館時間の短縮について。このことについて分館長名で関係各部局長へ照会した結果了承されたので、下記のとおり短縮する。閉館時間(月~金)午後6時(1時間短縮)、(土)午後5時(従来どおり)期間は昭和49年1月14日(月)より3月末日までとする。

——工学部図書委員会——

48. 12. 5 14:00~15:30 於 吹田分館会議室

①附属図書館長交替についての報告。②学生用図書選定について。学生用図書選定小委員会の選定報告ならび承認。③スライド料金の改正。スライド・プロセッサの市販と材料費の価格変更にともない全学統一料金改正案報告の実施は12月15日より料金は1枚100円。

④吹田分館利用内規の設置について。(イ)オーバーベットプロジェクター利用内規。(ロ)部外掲示物の取扱い内規。(ハ)国立国会図書館より貸出を受けた図書の取扱いに関する内規。(ニ)吹田分館の利用細則の改正等原案の審議ならびに承認。⑤学生用雑誌。サイエンス(Scientific Americanの日本語版)、原子力工業の2点を49年度より購入することに決定。

——近畿地区国公立大学図書館協議会
図書館業務の機械化に関する委員会——

- 第1回 48. 10. 31(水) 於 大阪大学附属図書館
第2回 48. 11. 26(月) 於 京都大学附属図書館
第3回 48. 12. 25(火) 於 神戸大学附属図書館

本委員会の調査、研究の概要を紹介します。先ず、検討方針として、①当面は図書館業務について機械化による共同処理の可能性を検討する。②機械化が可能と考えられる業務として、(ア)学術雑誌総合目録作成業務、(イ)外国雑誌一括購入業務、(ウ)閲覧業務、がある。③検討の方法として、先づ大学間での業務の標準化の可能性を検討し、次に特定の業務について標準化が可能であれば、さらにセンター館での処理業務内容、各大学図書館での処理業務内容、処理方法、所要人員、経費等について検討する。以上が第1回会議で決定され、そのご、機械化による共同処理が可能と考えられる上記(ア～ウ)について、各大学(機械化に関する委員会の構成メンバー館)の実態を調査し、今年度は、学術雑誌総合目録作成業務について具体的に、標準化の可能性、所要人員、経費等を検討することとなった。現在のところ、標準化の可能性、および業務処理方法については、ほぼ結論に達している。今後、所要人員、経費等についての検討を行い、「学術雑誌総合目録作成業務」に関する報告書にとりまとめられる予定となっている。

■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

- 10月31日(水) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会
(本年度第1回、本館)
11月26日(月) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会
(本年度第2回、京都大学附属図書館)
11月28日(水) 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(神戸市外国語大学附属図書館)
12月14日(金) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館施設に関する研究集会
(龍谷大学深草学舎図書館)
12月25日(火) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会
(本年度第3回、神戸大学附属図書館六甲台分館)
1月22日(火) 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(関西大学図書館)

■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■

来 訪 者

- 10月30日(火) Lucille M. Wert (イリノイ大学図書館学科助教授)
11月5日(月) 篠井保彦 (日本貿易振興会情報サービス部) ほか2名
11月8日(木) 高橋俊男 (国鉄技術研究所技術情報部) ほか1名
12月19日(水) John R. Barnett (OECD東京支部出版物センター所長)
1月16日(水) Tom Maughan (英国文化センター・東京支部図書館長) ほか1名
1月18日(金) 井上康博 (東京工業大学附属図書館整理課長) ほか5名

1月21日(月) 浅野次郎(北海道大学附属図書館整理課長)

大阪大学附属図書館長更迭

守谷一郎館長 辞任 12月1日付け

高田 馨館長 就任 12月1日付け

職員の異動

採用	事務補佐員	吉岡 佑子	48.11.1付	中之島分館運用掛
	〃	森実 幸子	48.11.5付	吹田分館運用掛
	〃	中尾 文子	〃	〃
	〃	平松 容子	49.1.7付	整理課庶務掛
配置換	事務官	右近喜志正	49.1.1付	整理課庶務掛企画主任
辞職	〃	合田 幸恵	48.11.5付	吹田分館運用掛
	〃	藤井 和子	48.12.10付	整理課庶務掛
	事務補佐員	中山 知子	48.12.31付	整理課目録掛
	〃	竹中 幸子	〃	閲覧課閲覧第一掛
出向	事務官	藤井 健司	48.11.1付	岡山大学